

平成26年度 北海道男女平等参画チャレンジ賞 受賞者一覧

【輝く北のチャレンジ賞】

団体名	釧路モカ女性プロジェクト	代表者	代表 森崎 三記子	住所	釧路市
<p>《受賞理由》</p> <p>釧路モカ女性プロジェクトは、釧路公共職業安定所で仕事と子育ての両立をサポートする相談員を務める森崎三記子さんが、育児中、介護中やシングルマザーなど様々な立場の女性の多様な生き方を考えようと呼び掛け、平成23年度に市内の有志と共に立ち上げました。</p> <p>同プロジェクトでは、釧路の基幹産業である漁業の活性化と家庭環境等により就労困難な状態にある女性の就労創出のため、子育てや家族の介護等で外に働きに出ることが難しい女性たちを対象に、家庭内作業による内職として、さんま漁で使用する網を加工したボディタオルと食器用たわしを製造販売しています。漁網タオルは、釧路オリジナルのお土産品として、市内のイベント、温泉施設や土産店等での店頭販売のほか、全国各地への発送も行うなど販路を拡大しています。</p> <p>また、仕事おこしの1つとして、地元食材を使用したお好み焼き風おやきをイベントやお祭り露店で販売するなど、地域の“もの”を活かした取組をおこなっています。</p> <p>平成25年度には、釧路市から業務委託を受け、内職ニーズ調査や漁網タオルによる内職創出実証実験を実施し、仕事と居場所を兼ね備えた“新しい働き方”や、作り手（女性）と売り手（若者）が互いに支え合い働く仕組みづくりの提案を行うなど、需要状況を踏まえた女性の人材育成や就労支援に取り組んでいます。</p> <p>平成26年度には、地域人づくり事業を受託し、女性の就業や起業をサポートする中で、女性からできる働き方のモデルを構築する活動を行っています。</p> <p>同プロジェクトでは、メンバー一人ひとりが自分の得意分野や強みを活かし、イベントや事業を企画・運営しており、自分らしく輝く女性を増やすというコンセプトで、今後も地域の“ひと”と“もの”を活かした取組を進め、女性の活躍の場の創出と広がりが期待されます。</p>					

【輝く北のチャレンジ支援賞】

団体名	株式会社ダイナックス	代表者	代表取締役社長 福村 景範	住所	千歳市
<p>《受賞理由》</p> <p>女性社員も長く勤務を続けることができるよう、育児中の従業員の短時間勤務制度や所定外労働の制限については、法定を大幅に上回り、子どもが小学校6年生までの利用を可能としているほか、フレックスタイム制や常用昼勤務（交代制勤務の免除）の選択も可能とするなど、社員が育児と仕事を両立することができる仕組みを積極的に導入しています。そのため、女性社員の2013年度の育児休業取得率は、厚生労働省調査の84.8%に対して100%を達成しており、結婚・出産を経て仕事を継続する女性社員も増加しています。</p> <p>会社創立30周年に際し、旧社屋の活用案について従業員からの提案をうけ、平成14年4月、北海道では初となる事業所内保育施設として、本社敷地内に「こどもくらぶ」を開設し、自社のみならず、近隣他社の児童受け入れも行い、地域の保育供給にも貢献しています。「こどもくらぶ」では、勤労感謝の日の会社訪問や、工場敷地内にある「ダイナックス農園」で園児が農作業を行ったり、収穫物を給食の食材として活用するなど食育にも力を入れており、単なる保育にとどまらず、幼児の情操面での育成にも配慮した施設となっています。</p> <p>また、平成26年度には、道の「ものづくり『なでしこ』応援プロジェクト」に賛同し、高校生や保護者等を対象とした、女性が活躍するものづくり企業の現場を見学するバスツアーや、女性社員が高校へ出向き、仕事のやりがいや魅力などについて語る出前授業の実施をはじめ、これまで女性が少ないとされてきたものづくり現場への女性参画を促進するための取組も積極的に行っています。</p> <p>同社の取組みは、本道のものづくり産業における女性の活躍推進及び社員の仕事と育児等の家事の両立支援のモデルとなるものです。</p>					

